


	<h2>豊橋日独協会</h2> <p>Japanisch-Deutsche Gesellschaft Region Toyohashi</p>	[TEL] 0532-51-1205 [FAX] 0532-51-1274 [URL] <a href="http://www.idg-toyohashi.com/">http://www.idg-toyohashi.com/</a> [E-Mail] <a href="mailto:jdtoyo@chubugas.co.jp">jdtoyo@chubugas.co.jp</a>
	愛知県豊橋市駅前大通一丁目 55 番地 サラタワー サラエナジー株式会社 秘書室内 (〒440-8531)	

2020年3月31日 現在

役員	会 長：神野 吾郎 副 会 長：松井 孝悦、安達 眞啓、柿原ヤヨイ、大塩啓太郎、西島 豊 事務総長：伊藤 幸雄 事務次長：小野 全子 事務局長：福田 裕之 監 事：魚谷 哲、梶村 康彦 顧 問：佐原 光一（豊橋市長）	 会長 神野 吾郎
会 員	法人会員 50 社、個人会員 190 名、学生会員 8 名	
年会費	法人 20,000 円、個人 5,000 円、家族(2 名)8,000 円、学生 1,000 円	
設立年	平成 3 年（1991 年）5 月 8 日	

### 《 2019 年度 主な活動 》

<p>2019年4月19日（金）～4月20日（土）</p> <p>●「2019年全国日独協会連合会年次総会」出席（出席者：3名）</p> <p>新潟港開港 150 周年を記念して開催された「2019 年全国日独協会連合会年次総会」に出席し、初日の総会議事、基調・記念講演会、各地日独協会活動報告、懇親会、並びに 2 日目に開催されたドイツ総領事館跡記念碑除幕式等を通して日独・日独協会関係者と交流・親交を深めた。西島副会長が年次総会にて当協会の活動報告を行った。</p>	
<p>2019年5月10日（金）</p> <p>●「ドイツ関連講演会&amp;シュタムティッシュ」開催（参加者：約40名）</p> <p>在日ドイツ連邦共和国大使館・主席公使のクラウス・フィーツェ氏を講師にお迎えし、『日本とドイツの関係～ベルリンの壁崩壊時の体験を交えて～最近のドイツの状況』をテーマにドイツ関連講演会を開催した。講演会終了後は、フィーツェご夫妻を囲んで「シュタムティッシュ」を開催し、大使館差入れの地ビールとお店の料理を堪能した。</p>	
<p>2019年5月26日（日）～5月27日（月）</p> <p>●「豊橋&amp;石巻ええじゃないか交流」協力</p> <p>豊橋&amp;石巻ええじゃないか交流委員会が主催した「石巻市二子団地まちびらき祝い」における豊橋伝統の手筒花火放揚と豊橋の旬の食材をお届けする交流事業に対して、当協会会員への事業協賛金募集を行い、計 18 万円（法人 8 件、個人 5 件）の協力をを行った。</p>	
<p>2019年5月30日（火）</p> <p>●「豊橋日独協会 年次総会・懇親会」開催（参加者：66名）</p> <p>総会では 2018 年度事業報告並びに収支決算報告、2019 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)、役員人事、副委員長変更等について審議が行われ承認された。書道作家の鈴木 愛さんによる『令和』の書道パフォーマンスのあと、懇親会がスタート。テーブル対抗ダーツゲームやアヒルのダンス、全員合唱などで会場は大いに盛り上がった。</p>	

2019年6月6日(月)

●「ライブツィヒ市一行 来豊、歓迎交流会」開催(参加者:53名)

日本における経済ミッションのために来日された、ライブツィヒ市のクレメンス・シュルケ経済振興局長、ウテ・リーベルト経済担当マネージャー、ロイ・リヒター独日協会連合会副会長他、計5名が来豊。豊橋駅でのお出迎えのあと、月例会「シュタムティッシュ」にご招待し、歓迎交流会を行った。



2019年7月15日(月・祝)海の日

●「豊橋みなとフェスティバル2019」参加(参加者:18名)

屋外テントではドイツソーセージをその場で茹でて焼いた出来立てのホットドック80本と入荷したてのドイツビール96本を販売し、完売した。また、来場されたお子さま向けの「ダーツゲーム」(無料)を企画したところ、250名以上のお子さまが並んで列をつくって参加する大変人気のアトラクションとなった。また、愛知県の大村知事、浅井県議にも本ブースにお立ち寄りいただいた。



2019年7月24日(水)~7月27日(土)

●「第10回豊橋青少年オーケストラキャンプ」後援、協力

東三河の音楽を志す中高生216名に対し、ドイツを中心に活躍する一流音楽家による集中レッスンが3日間行われ、キャンプの成果を発表するコンサートが最終日に開催された。また、ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルトの浮ヶ谷孝夫首席客演指揮者に対し、佐原市長より「豊橋親善大使」の委嘱がなされた。当協会は、講師の接遇や通訳、撮影などの運営協力を行った。



2019年7月26日(金)

●「シュタムティッシュ・特別例会」開催(参加者:32名)

オーケストラキャンプの外国講師の方々とその家族18名をお迎えし、当協会会員14名とともに「お寿司」を楽しみながら和やかに交流を行った。セレモニーと記念撮影のあと、回転寿司のカウンター席に5~6名程に分かれて座り、携帯端末による注文などを実際に体験され、大きなネタの美味しいお寿司と各種日本料理を堪能された。



2019年7月26日(金)~7月27日(土)

●「2019日本とドイツ・絆コンサートin石巻」開催(参加者:4名)

西島副会長、産業交流委員会メンバーが、ドイツを中心に活動する吉田馨さんを中心とした5人の演奏家による石巻市内の渡波保育園、石巻専修大学、渡波公民館、新蛇田集会場の4ヶ所でのコンサートの設営協力を行うとともに、市内の被災者の方々と交流を深めた。なお、本事業への協力として、東北花火放揚協賛金から3万円を拠出した。



2019年8月2日(金)

●「第2回フォルクスワーゲン工場見学ツアー」開催(参加者:40名)

小学校5・6年生を対象とした夏休み特別見学ツアーを昨年に引き続き開催。約120名の事前申込者から40名を抽選にて決定。当日は、各施設の概要説明のあと、2班に分かれてテクニカルサービスセンター、港、パーツデポ、トレーニングセンターをバスと徒歩で順次見学し、最後は1階ロビーで記念撮影を行い、無事終了した。



2019年9月13日(金)~9月15日(日)

●「グスタフ・ハイネマン高校 来豊」対応(来豊者:16名)

日本への修学旅行を機に来豊された教師2名、生徒14名に対し、ホームステイ先の手配、移動手段確保、市内視察対応、訪問先との連絡調整などのサポートを行った。具体的には、豊橋駅におけるお出迎え&お見送り、二川本陣見学、豊丘高校校長・豊橋市長表敬訪問、歓迎交流会、豊丘高校茶道部・和太鼓部との交流、炎の祭典見学など。





2019年9月13日(金)

●「グスタフ・ハイネマン高校 歓迎交流会」開催(参加者:55名)

グスタフ・ハイネマン高校一行16名(代表:Mr. Dmitry Kartava)をお迎えし、当協会会員並びにホストファミリー計40名とともに、けん玉や折り紙などの日本文化体験や日本語とドイツ語による全員合唱などを通じて、和やかに交流を行った。



2019年9月20日(金)

●「ドイツ・テコンドー代表团 歓迎交流会」開催(参加者:31名)

ドイツ連邦共和国テコンドー代表团が9月16日から21日まで豊橋市においてトレーニングキャンプを行うのを機に、代表团5名を当協会の月例会「シュタムティッシュ」にご招待し、歓迎交流会を行った。



2019年10月19日(土)~10月20日(日)

●「第65回 ええじゃないか豊橋まつり」参加(ブース出展)

東京オリンピック・パラリンピックの「ドイツ」・「リトアニア」のホストタウンである豊橋市の「PRブース」と併設してブース出展し、会員拡大委員会が主体となって、ドイツソーセージ(三種盛り、ぐるぐる、ロング)の販売と三つ折パンフレットと「X'mas Stammtisch 2019」のチラシ配布による当協会のPR活動を行った。



2019年11月10日(日)

●「とよはしインターナショナルフェスティバル2019」参加

「平和・交流・共生のまち」をテーマに、国際交流を楽しむフェスティバル。本年度は、公益財団法人豊橋市国際交流協会設立30周年記念事業のひとつとして開催された。当協会として2018年度の活動内容をパネルにまとめ、作成・展示し、豊橋市民並びに在住外国人の方々にご覧いただいた。



2019年11月20日(水)

●「西島株式会社 企業視察会」開催(参加者:19名)

当協会の法人会員であり、ドイツとの関係が非常に深い西島株式会社様のご厚意により、企業視察会を実施した。当日は、本社内会議室にて会社概要の説明を受けたあと、本社敷地内の工場を見学。社員食堂にて名物「西島カレー」の昼食会を行い、好評のうちに終了した。



2019年12月22日(日)

●「X'mas Stammtisch 2019 聖夜のビアガーデン」開催(参加者:約550名)

昨年に引き続き、2回目の開催。当日は寒々しい曇り空で夕方以降は冷たい雨が降る最悪の天候となったが、事前にチケットをご購入いただいたお客さまを中心に約550名の方々が来場された。先着300名様への「シュトレン」のプレゼントとチケット付属の「オリジナルマグカップ」はお客さまに好評だった。ホテルアークリッシュ豊橋提供のドイツ郷土料理やドイツビール・グリュウワインのほか、ナッツ、シュトレン、ハム・ソーセージ、地元食材などの販売、また年末にふさわしい占い鑑定サービス、無料のフェイスペイントなど数多くのブースが並び、会場は大いに賑わった。夕方17時から、クリスマスパーティーが幕を開け、お客さまが食事と歓談を楽しまれる中、ステージイベントで「Gospel-M」の特別コンサートが賑やかに開催されたほか、地元ホテルの1泊朝食付きペア宿泊券などが抽選で当たる「ドイツ、愛知、東三河を感じる大抽選会」も開催され、会場は大いに盛り上がった。



2020年1月29日(水)

●「2020年・新年会」開催(参加者:78名)

オープニングは、豊橋落語天狗連所属の小呂比家念挫さんの太神楽をお楽しみいただき、神野会長の新年挨拶、今年の年男年女の乾杯で新年会がスタート。東京オリンピックにちなんだNPO法人TTランナーズの仲井理事長の講話のほか、あひるのダンス、全員合唱などで会場は大いに盛り上がり、西島副会長の閉会の辞でお開きとなった。



2020年2月1日(土)、2月2日(日)

●「第18回とよはしまちなかスロータウン映画祭」協賛(入場者:357名)

東西冷戦下、政治的タブーに触れてしまった若者たちを描いたドイツ映画「僕たちは希望という名の列車に乗った」に協賛するとともに、チケット販売の協力を行った。

2020年2月5日(水)

●「ドイツ連邦共和国大使 講演会&懇親会」開催(参加者:約51名)

2019年9月に駐日ドイツ連邦共和国大使に就任されたイナ・レーベル氏を講師にお招きし、『日本とドイツの今後のあるべき姿と日独協会に期待する役割』をテーマにご講演いただいた。終了後、岡田会員のテノール合唱、松井副会長の乾杯により懇親会がスタート。参加者はレーベル大使との歓談や食事を楽しまれ、充実した時を過ごした。



2020年2月6日(木)

●「ドイツ連邦共和国大使 企業視察会&豊川稲荷参拝」対応(3名)

午前中は武蔵精密工業(株)で輸送用機械器具の鍛造から完成品までの工程を視察、豊川稲荷では特別御祈禱のあと精進料理を召し上げられ、午後からはフォルクスワーゲングループジャパン(株)でテクニカルサービスセンターやパーツデポなど工場内を一巡された。レーベル駐日大使一行は、大変満足されたご様子で新幹線にて帰京された。



2020年2月11日(火・祝)

●「日帰りバスツアー」開催(参加者:21名)

「源氏物語・女流文学を巡る宇治散策と石山寺」と題して、宇治源氏物語ミュージアムの見学、宇治上神社の参拝を楽しんだ。昼食後、世界遺産・平等院鳳凰堂、雲中供養菩薩像26軀や古仏を見学し、平安貴族の来世に対する浄土信仰、宗教観を体感した。その後、多くの平安貴族が参詣した花の寺・石山寺を参詣し、無事帰路についた。



※2020年3月以降の各種事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、すべて「中止」した。

● シュタムティッシュ(毎月1回開催、於:ビアホール「独逸」)

会員交流、来豊されたドイツからのお客さまの接遇、新規入会希望者との懇談の場。毎月1回、20~30名の参加者が集い、有意義な交流の場となっている。

● ドイツ語教室(上級・中級ドイツ語講座)

上級・中級クラスとして、春季・秋季で延べ24回開催。(参加者:延べ32名)  
(※初級クラスは休講中)

● 常任理事会、委員長会議

「常任理事会」(4・9・2月)、「委員長会議」(年間7回)を開催し、当協会の事業計画、事業予算、および役員人事等について審議を行った。

以上